

生産局長賞

有限会社 清里^{きよ さと}ミルクプラント

～地産地消を核とした乳製品製造・販売による「清里ブランド」の確立～

代表者：代表取締役 小清水 八市

所在地：山梨県北杜市高根町

構成員：会員数 生産者(酪農家)26名、従業員10名

活動開始年月日：平成14年4月

表彰理由

清里地域生産の生乳を原料に使った牛乳、チーズ、ヨーグルトなどのこだわりの乳製品を製造し、地域の直売所等での販売に意欲的に取り組むなど、地場農産物の消費拡大や理解促進に大きく貢献。

酪農家が共同作業により、遊休農地等を活用して自給粗飼料の生産に取り組むなど、農地の維持にも寄与。

新鮮・安全な地域特産品としてのブランド確立をめざし、量販店での販売や、企業と連携した新たな商品開発などに意欲的に取り組んでいる。

取組内容

1 「顔が見え、話ができる」取組

- 「自分たちが造った牛乳を直接消費者に届けたい」という思いから、平成14年に26戸の酪農家が集まり有限会社を設立。安心安全とともに自然を大切にこだわりの乳製品として、牛乳、チーズ、ヨーグルト、ソフトクリームなどを製造・販売。
- 加工品の原材料や製造工程などの情報提供を消費者に積極的に行うほか、消費者が外部から乳製品製造の場を見ることができるよう施設とするなど、顔が見える安全な商品としてのPRに努めている。
- 当該法人が製造している乳製品は、加工施設併設の直売所をはじめとして、市内3か所の道の駅や農産物直売所で販売されており、地域における地場農産物の利用促進や理解促進に貢献。

2 遊休農地の解消

- 酪農家が共同作業により、水田転作や遊休農地を活用して、必要な自給粗飼料(牧草、とうもろこし等)を生産することにより農地の維持に取り組むなど、地域農業の振興にも貢献。

3 地場農産物のブランド化

- 平成20年7月より市内小淵沢町にあるアウトレットモールに出店。また、県内外で開催されるイベントでの販売などを通じ、地場農産物の販路拡大や理解促進に努めている。
- 「牛乳」、「ナチュラルチーズ」、「飲むヨーグルト」は『山梨県農産物等認証制度(甲斐路の認証食品)』として認証を受け、消費者の信頼確保に努めているほか、平成20年には、県内の果樹農家で構成される法人と連携し、商品の研究・開発など、新たな取組を展開。
- 近年では、山崎製パン(株)製品の「ご当地パン」の原材料に牛乳が利用され、また、JR池袋駅構内の(社)日本酪農乳業協会のアンテナショップにおいて牛乳の販売を行うなど、地元以外での販売も展開されつつある。